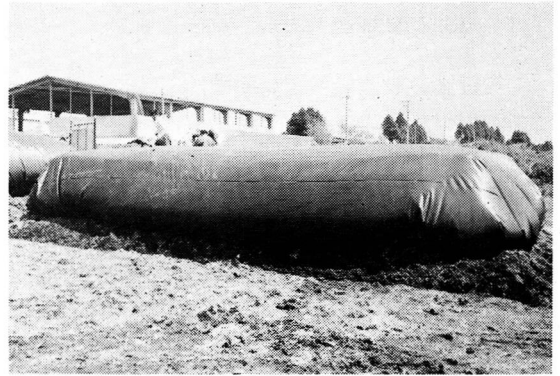


「サクラワセ」のサイレージ調製

乾物収量(表5)については、サクラワセはミナミワセと同程度の収量で、ワセユタカやヤマアオバ、マンモスAより劣った。

1日当り乾物生産量(表6)についても乾物収量と同様の傾向であった。

水田でのイタリアンライグラスの栽培の場合、特に残根量がイネの生育やロータリ耕に大きな影響を及ぼしている。表7に示したように、サクラワセやミナミワセは圃場残根量が少なく、ワセユタカの $\frac{1}{2}$ 以下、ヤマアオバやマンモスAの $\frac{1}{3}$ 以下であり、水田に導入しやすい品種といえる。



「サクラワセ」のスタックサイロ

サクラワセの活用法

サクラワセはミナミワセより6~10日早生で、収量も同程度かそれ以上を示す。1日当り乾物生産量は、ミナミワセより多い。4月上旬までに出穂するので、4月播きのトウモロコシの前作として適した品種である。また、県内では約8,000haの早期水稲が栽培されているが、極早生であることと、残根量が少ないことから今後の栽培面積の拡大が期待される。また、草型としては、ワセユタカより茎が細く、予乾サイレージや乾草調製に適した品種といえる。

イタリアンライグラス「サクラワセ」の 現地実証成果②

岡山県における実証成果と普及性

岡山県農林部普及園芸課 専門技術主幹 山田林三郎

はじめに

乳牛の高泌乳時代を迎え、自給飼料も従来の量から質への転換を余儀なくされたことに伴い、トウモロコシのホールクロップサイレージが急速に普及してきた。雌穂重割合の高い高品質のトウモロコシを収穫しようと思えば、どうしても早播栽培が望まれるが、イタリアンライグラスとの輪作体系では、イタリアンライグラスのスプリングフ

ラッシュが4月下旬~5月上旬になるため、トウモロコシの播種期が遅れ、品質が低下するという悪循環を繰返していた矢先、イタリアンライグラスの超極早生品種「サクラワセ」が開発されたので、これを現地で実証し、その結果をとりまとめたので報告する。なお、この現地実証は昭和57年度に実施したものである。

1 現地実証の概要

(1) 実証圃の設置場所及び面積

実証圃の設置場所は図1に示すほか、次のとおりである。

圃場番号	設置場所	地目	面積
1	岡山県赤磐郡熊山町稗田	転換畑	5 a
2	〃 阿哲郡大佐町永富	転換畑	5 a
3	〃 久米郡久米町一色	転換畑	5 a

(2) 供試品種

圃場番号	標準品種	供試品種	対照品種
1	ミナミワセ	サクラワセ	コモン
2	ミナミワセ	サクラワセ	ワセアオバ
3	ミナミワセ	サクラワセ	—

(3) 1区面積及び反復数

各実証圃とも1区25m²とし、反復数は2連制とした。

(4) 播種期及び播種量

圃場番号	播種期	播種量	播種法
1	10月29日	200 g/a	散播
2	10月12日	300 g/a	散播
3	10月15日	250 g/a	散播

(5) 施肥量 (kg/a)

圃場番号	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	備考
1	1.0	1.5	1.0	堆肥300, 苦土石灰10 牛尿300
2	1.1	0.6	1.1	—
3	1.0	1.5	1.0	堆肥300

(6) 栽培期間中の気象状況

栽培期間中の気象状況については、最寄りの気象台地域気象観測所で調査した。その結果は図2のとおりである。

2 実証成果の概要

(1) 生育調査

1) 草丈 生育期間中の草丈の推移は図3に示

すとおりで、平均気温が5℃以上になった3月中旬以降急激な伸長を示したが、標準品種であるミナミワセとの間で有意な差は認められなかった

2) 出穂期 サクラワセの出穂始は、品種の名称のとおり



図1 展示圃設置場所

り、ツメイヨシノの開花期と同時期で、1号圃の4月4日を最初に、3号圃の4月6日、次いで2号圃の4月13日であった。これは標準品種ミナミワセより7日早い出穂であった。

3) 生育障害 生育期間中の障害、とくに病虫害については特筆すべき事項はなかった。倒伏については、サクラワセが、標準品種ミナミワセに比較して、やや抵抗性が強いと思われた。

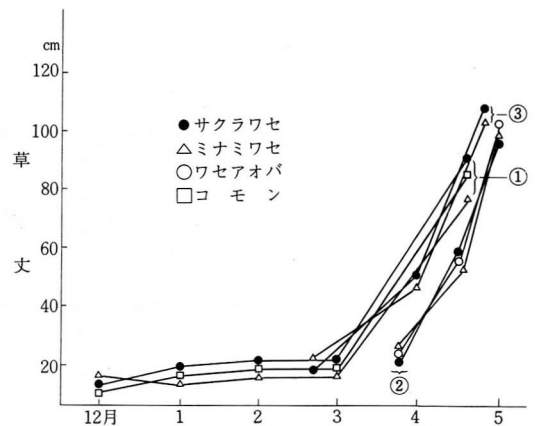


図3 時期別草丈の推移

注 ①：1号圃，②：2号圃，③：3号圃

表1 サクラワセの収量性 (標準品種ミナミワセとの比較)

圃場番号	調査月日	品 種	収穫時の生育ステージ	生草収量	風乾物率	風乾物収量	指 数
1	4月22日	ミナミワセ サクラワセ	1/3 出穂	kg/10a 3,390	% 19.8	kg/10a 671	% 100
			開花期	3,100	22.4	694	103
2	4月28日	ミナミワセ サクラワセ	出穂期	6,200	13.5	837	100
			開花初期	4,200	16.0	672	80
3	4月27日	ミナミワセ サクラワセ	出穂期	6,730	15.0	1,010	100
			開花始期	6,350	16.2	1,029	102

(2)収量調査

1) 生草収量 1区1m², 2カ所刈りの平均収量は表1のとおりであり, 標準品種ミナミワセと比較し, 加重平均で84%とやや収量が低かった。2号

圃でミナミワセと比較して収量が68%と低いのは, 他地区と比較して平均気温が2.5~3.0℃低いのが大きな原因と思われる。この成績から見ると, サクラワセは非常に感温性の高い品種ではないかと思われる。

思われる。

2) 風乾物率 風乾物率は, サンプル500gを採取して, 電気乾燥機で105~110℃で2時間乾燥し秤量した結果, 表1のとおりで, サクラワセは標準品種ミナミワセと比較し, やや高い値向を示した。

3) 風乾物収量 風乾物収量は表1に示すとおり, 2号圃を除き, 標準品種ミナミワセと同程度の傾向を示した。従ってサクラワセは生草収量においては, 標準品種ミナミワセよりやや劣るが, 風乾物率がやや高いため, 風乾物収量においては, ミナミワセと同程度の収量が得られた。

3 考 察

イタリアンライグラス超極早生品種「サクラワセ」の栽培実証を行い, 次の結果を得た。

(1)出穂期は「ソメイヨシノ」の開花期であり, 標準品種ミナミワセより7日早く, 他の品種と比較して最も早かった。

(2)生草収量は, 標準品種「ミナミワセ」よりやや低いが, 風乾物率が高く, 風乾物収量ではミナミワセと同程度であった。

(3)倒伏については, 他の品種より抵抗性があり, 機

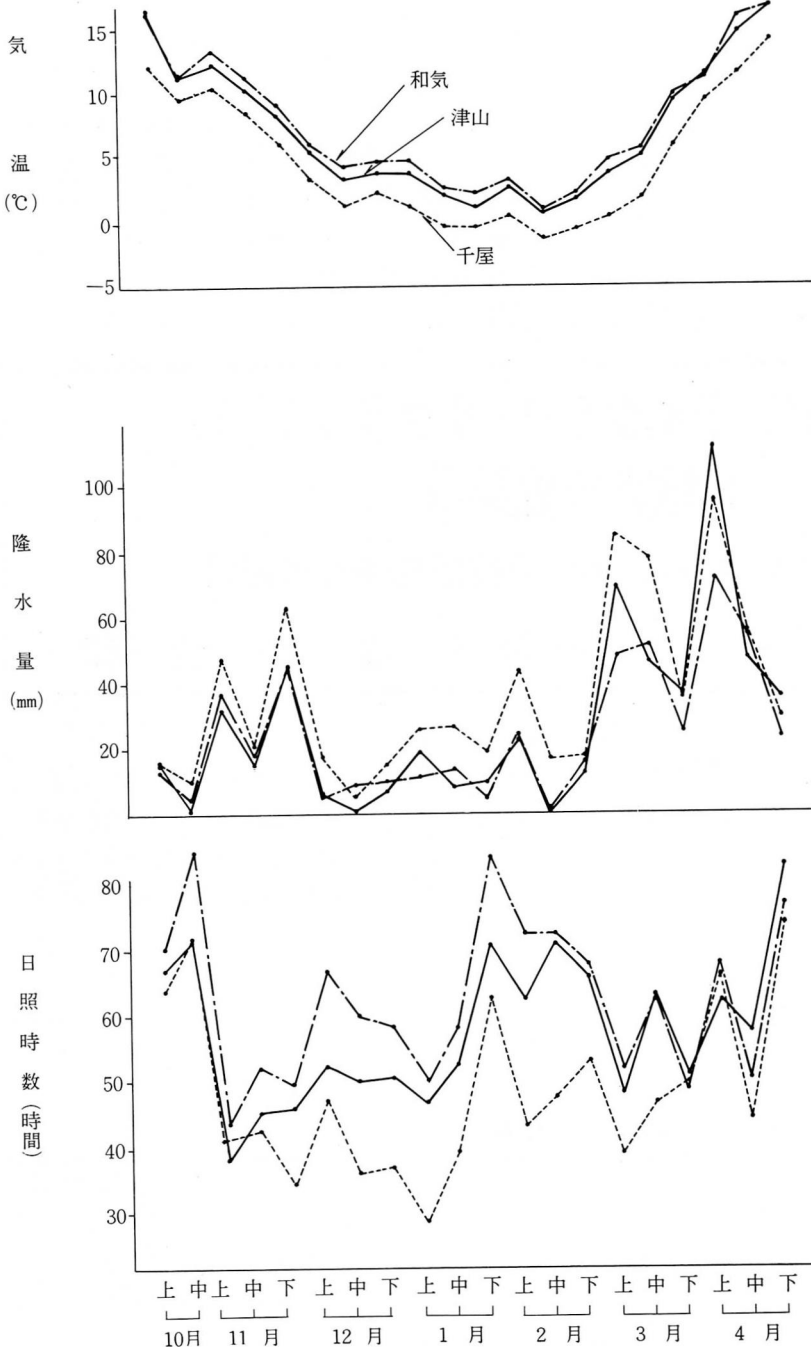


図2 栽培期間中の気象状況

注) 1, 2, 3号圃の最寄りの観測地点はそれぞれ和気, 千屋, 津山である。

械利用上有利であると判断された。

4 今後の課題

1カ年の現地実証のみで述べるのは、おこがましいが、今後の課題として、

(1)播種期を早め、栽培期間を延長し、増収を図ること。

播種期が10月中～下旬とやや遅れ、栽培期間が175～197日と短かったため収量がやや低いことが懸念されるので、播種期を9月上旬ころとやや早める必要がある。

(2)リン酸施用効果確認の必要性

イタリアンライグラスに対するリン酸施用効果

の高いことは明らかであるが、今回の現地実証で2号圃におけるサクラワセの低収の原因にリン酸成分の不足が考えられ、他の品種よりリン酸成分の吸肥性が高いのではないかと疑問を感じた。この点、今後検討の要がある。

5 普及性

サクラワセは平均気温が10℃で出穂し、収穫適期を迎える。標準品種ミナミワセと比較し、風乾物収量において大差ないことから、トウモロコシの前後作として、また耐湿性飼料作物オオクサキビとの連続栽培に好適品種として、今後の普及性は高いものと思われる。

イタリアンライグラス「サクラワセ」の 現地実証成果③

富山県(北陸地方)における実証成果と有望性

富山県畜産試験場 塩谷佳和

1 極早生イタリアンライグラスの有利性

土地を効率的に利用して飼料作物の高位生産を図るためには、イタリアンライグラス＝トウモロコシの輪作体系が最も優れていると考えられる。表1に富山県における収量性等について試算してみた。イタリアンライグラスの生草収量は極早生種で3,000 kg/10 a、早生種、晩生種と西南暖地や太平洋側に比べて低いのは、積雪による草腐れ被害を受け、地上部がない越冬直後の状態から出穂

期までの期間が短いためである。イタリアンライグラスに極早生種を用いた場合はその収量は劣るが、トウモロコシの適期播種によって高収量が期待でき、更に台風襲来期以前に収穫できる。早生種利用も同様の傾向であるが、晩生種とした場合はトウモロコシの播種期が梅雨期にかかり、また収穫期が台風襲来期になるなど、安定多収とされない面が多い。トウモロコシは晩播きすると低収となるので、イタリアンライグラス、トウモロコシの合計 TDN 収量を考えるとイタリアンライグラ

表1 イタリアンライグラス＝トウモロコシの輪作体系例と富山県における収量性

作物名	月												10a当り目標収量 (kg)			
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生草	乾物	TDN	DCP		
イタリアンライグラス(極早生種)	×・×								○…○			3,000	501	348	48	
トウモロコシ(早生種)			○…○	—				×・×			5,500	1,534	1,072	72		
イタリアンライグラス(早生種)	×・×								○…○			3,500	584	406	56	
トウモロコシ(早生種)			○…○	—				×・×			5,000	1,395	975	65		
イタリアンライグラス(晩生種)	×・×								○…○			3,500	584	406	56	
トウモロコシ(早生種)			○…○	—				×・×			4,500	1,255	877	58		

梅雨 台風襲来期